

**「第6次美瑛町まちづくり総合計画」(素案)に対する
町民コメント実施結果について**

「第6次美瑛町まちづくり総合計画」(素案)に対して、町民等の皆さまからご意見を募集した結果について、ご意見の概要とご意見に対する考え方は次のとおりです。

貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1 町民コメントの実施結果

案件名	第6次美瑛町まちづくり総合計画(素案)
実施期間	令和4年12月30日(金)から令和5年1月30日(月)まで
案の公表方法	1 指定する場所での閲覧又は配布 (まちづくり推進課、役場町民コーナー、町民センター、 図書館、ビ・エール) 2 町ホームページ及び町公式LINEへの掲載
意見等の提出方法	窓口、郵送、ファックス、電子メール、ご意見箱への投函、町公式LINEへの投稿
結果の公表方法	町ホームページ
意見等の提出者数・ 件数	提出者数：8名 件数：8件 【提出方法内訳】窓口：1名、郵送：0名、ファックス：0名 電子メール：3名、ご意見箱：1名 町公式LINE：3名

※ ご意見については、原文のまま掲載しています。

2 意見の概要と意見に対する考え方

ご意見	<p>年度内の計画策定の延期を求めます。</p> <p>提示されたこの素案には、住民が取り組むための実効性が認められません。また、進行中の「第5次美瑛町まちづくり総合計画」を、あえて期間途中での見直しの理由について述べるべき『策定にあたって』が空白のまま、かつ計画策定の目的も、「第5次美瑛町まちづくり総合計画」と殆ど変わらず、国の方針大転換の「デジタル田園都市国家構想」への言及・対応も認められないこの計画案は、全く無意味であるといしか言いようがありません。</p> <p>行政の役割は、町民が自分達の住む地域社会の生活環境を良くすることを目的として行政が行う行政施策に基づき、町民自身が実践・実行できるよう実効性のある計画づくりをすることです。これは地方自治の大原則です。この大原則は、民主主義国家としての要件であることは云うまでもなく、人間社会全体における国家（法律）の枠を超えた「地方自治の本旨」に基づく「地域住民自治」の原則です。</p> <p>この大原則が、日本に於いて実践されていないことが、日本社会全体の活力を殺ぐ、「失われた30年」とも言われる日本経済の現況をなす原因となるものです。現代人間社会に於いて、国家の役割は、戦争と外交です。国民の生活は、国民自身が自律的に営まなければなりません。政治家が選挙のたびに「国民（住民）の生活を守る」と連呼するのは不法行為です。国民の生活について、政治家の役割は、憲法25条に定める国民が自立して生活できる社会を作ることです。自立して生活する社会とは、他人（行政も含めて）に頼らず、歩ける範囲内で日常生活を完結させることが出来る社会です。</p> <p>令和5年度から「デジタル田園都市国家構想」が本格的に動き始めます。デジタル化社会では、国民も国家も、法律に基づいて夫々の役割を忠実に果たさなければなりません。世界的に見て特異とされた「村度」による日本的な社会課題解決方法が解消され、法に基づく社会統治システムが構築されます。「自治基本条例」は不要なものになります。「まちづくり総合計画」もデジタル化により実効性のあるものが出来ます。国民もデジタル化（地方自治体経営システム、地域経営・町内会経営システム、主婦家庭経営システム等の構築）を活用して、国に頼らず自立した生活をしなければなりません。</p> <p>今年は統一地方選挙の年、町長も議員も「新しい時代のまちづくり」についての対応力が求められることとなります。令和5年度、地方自治体は自らの地域</p>
-----	---

	<p>ビジョンを描き、総合戦略を改訂し具体的な地方活性化に対する取り組みを推進することが求められます。地域ビジョンは、地域住民自身の力で描かなければなりません。</p> <p>私は、政治団体「美瑛創生塾」の設立を考えています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「美瑛創生塾」 政治上の施策を研究し、以って政治家を育成し、政治家の活動を監査することにより国民の自活を促す（※）ことを目的とする。</p> <p>※とりあえず「美瑛町地域ビジョン」構築の取り組みをする</p> </div> <p>よろしくご協力のほどお願いいたします</p> <p>以上</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">町の考え方</p>	<p>第6次美瑛町まちづくり総合計画（素案）の策定作業につきましては、令和2年度から開始した「美瑛町共有ビジョン」の策定に係る取組が起点となっており、これまで実施してきた町民まちづくりワークショップや、まちづくり委員会、町広報紙、町ホームページ等で計画策定の目的や経過についてお知らせしてきたところです。この度の計画策定につきましては、社会情勢が急速に変化する中、少子高齢・人口減少への更なる対応に加え、近年多発する自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大による社会生活・経済活動への影響などの課題に対応するために、計画の抜本的な見直しを図るものです。</p> <p>新たな総合計画は、まちづくりへの「情報共有」と「町民参加」を基本とし、町民の皆さまと共に創り上げてきたこれまでの成果や課題を踏まえて策定しています。</p> <p>なお、ご指摘のあった「デジタル田園都市国家構想」への言及・対応につきましては、「6-2 デジタル改革の推進」（P112・113）が関連施策となりますのでご参照ください。</p>

ご意見

- ・まず、素案、意見箱の横にありましたが、正直じっくり読めると思えません
ラインに1/20にのせたのでは遅く、期間中に読みにくいかと、でもラインのお陰で少し読めました。
- ・「移住・定住……」様々な補助や空き家バンクなど努力されていますが、へき地の町営住宅や、気軽に住める場が少ない。現在、小・中学校のある三沢・明德・美馬牛に（費用かかるが）町営住宅等がほしいが、その案はないのですか？
- ・自然の中で子育てを考える人は、町まで行かず、学校もあるし、美馬牛は中学まであり、JRもあるので高校も通いやすい。具体的にこの事を加えてPRすればわかりやすい。プラス、スクールバスあるので登下校時ある程度大丈夫。とわかれば気持ちもちがう。（実際住んで良かったので）スクールバスの事「びえいでくらす」等のパンフに子育てのところ等に載せても良いと思う。スクールバス（無料でどこでも乗降可能と知らない町民も意外と多いです。）の事のせている何かありますか？道北バスやふらのバス等はあったと思うが。
- ・子育て世代には、色々と充実して良いと思う。次は「その後も住み続けられるか？」ここ数年地方でのんびり子育てを、家庭菜園を…と考える人が増える中、とても良い地。今がチャンス、あとは住む所があれば…町営など本気で必要だと思いますがそれについての案はさがせませんでした（もし、あればスマセン）
- ・今回この意見を聞く機会、特にラインの活用、良かったと思います。頑張ってください。現小・中学校が閉校とならない町づくり期待しています。

町の 考 え 方	<p>今回実施した町民コメントにつきましては、各公共施設へのご意見箱の設置や町ホームページへの掲載のほか、町公式LINEでの公表方法を取り入れさせていただきましたが、ご指摘のとおり、町公式LINEによる公表時期の遅延につきまして、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。今後このようなことが無いよう徹底してまいりますので、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>郊外における町営住宅につきましては、現在、町営美沢一般1棟1戸、町営朗根内一般2棟2戸、町営美馬牛一般1棟1戸、美馬牛団地1棟4戸を含め、合計14団地34棟37戸を設置しておりますが、美馬牛団地を除くすべてが旧教員住宅となっております。一定の需要はあるものの、長期間空き室となることもあることから、建設の計画はなく、当面は住宅の維持保全に努めさせていただきます。</p> <p>町営住宅（公営住宅、町営一般）につきましては、住宅に困窮されている方への供給を目的としているため、入居に際してはそれぞれに所得制限を設けています。ご意見にある移住定住を検討する方には、「二地域居住住宅」「定住促進住宅」「テレワーク住宅」をご利用いただくとともに、各種イベントやパンフレット、SNS等を通じて積極的なPRに努めてまいります。</p>
-------------------	---

【持続的なまちづくり】

地域経済・産業構造分析では、町内生産額の約半分（165億円）が失われる将来の可能性があると。素案は、農・商・工が絡んだこの包括的課題に正面から向き合っていません。今後の10年、大丈夫ですか？・・・包括的とは、(a)問題のデータ（症状）、(b)戦略シナリオ（治療目標）、(c)効果のある打ち手（処方）をセットにした計画。

①産業のひび割れと漏れバケツの問題。・・・(a)はあり。(b)はなし。(c)は、「3-6 商工業の振興」にあるBeコインの総チャージ7,400万円、中小企業の開業数325件で得られる、トータルの改善効果は桁がずれていませんか？

②農林業の荒付加価値の向上の問題。・・・(a)はあり。・・・(b)はなし。・・・(c)は、ビエティフル商品の認定数23件で得られる、トータルの改善効果は桁がずれていませんか？

③ひび割れ、漏れバケツ、農林業の粗付加価値は農・商・工が絡んだ切り離せないマクロな課題です。縦割りのミクロな基本施策 3-1から3-7を寄せ集めて対処できるほど甘くないです。考える責任のある組織が、あるなしの問題ともいえます。

【(123 ページ) 財政の持続性の KPI について】

総合計画と令和4年財政運営計画の数字の整合の問題です。混乱を招かないよう注釈も含めて検討してください。

①実質公債費比率の KPI：令和9年度の10.0%は、財政運営計画では7%です。バラバラで大丈夫ですか？

②基金残高の KPI：令和9年度45億円は、財政運営計画では30.5億円です。バラバラで大丈夫ですか？

③将来負担比率の KPI：令和3年度41.2%が、令和9年度から55%に増えるのは共有ビジョンに反しませんか？基金残高をいくらで算出しましたか？

④将来負担比率の KPI：そもそも財政運営計画にありません。総合計画の10年先の重要な指標です。両者を連動し、算出根拠とともに公表すべきではないですか？

⑤連結実質赤字比率の KPI：令和3年度の▲19.6%。広報12月号7ページに「連結実質赤字比率 黒字のため 数値はありません」とあります。町民の関心事です。混乱や誤解を招かないよう、双方に注釈をつけてはどうですか？

【(5 ページ) PDCA サイクルに基づく、定期的な点検・評価】

<p>定期的な点検・評価の中身が明記されておらず、実効性は大丈夫ですか？</p> <p>①KPI、個別施策、および個別事業を横並びで、定期的に評価する意図はありますか？</p> <p>②自治基本条例第 38 条および総合計画条例第 7 条の（まちづくり評価）は何をしますか？またそれは 5 ページの PDCA とどうつながりますか？当たり前の PDCA でなく、町民・議会・行政が参画した取り組みのシステム図を示したらどうですか？</p> <p>③議会は、5 ページ PDCA サイクルにおいて具体的にどんな役割を果たしますか？</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

本総合計画の柱である「美瑛町共有ビジョン」の実現には、町の地域経済の現状を把握することが必要です。令和2年度に作成した「美瑛町産業連関表」や令和3年度に実施した「買い物調査」「ひび割れ調査」などをもとに、町の産業経済の大きさや産業間取引の構造、町外への依存度合いなどの地域経済の分析を行い、その抜粋したデータを本計画に掲載しています。

町外へ流出しているお金や町外から調達しているお金、いわゆる「お金の流れ」を塞ぐことや、町内事業者の撤退・廃業により失われる経済リスクを未然に防ぐことについては、ご意見のとおり、農林業、商工業、観光業等あらゆる産業に関連することから、データに基づいた政策・施策の立案や意思決定が求められると考えております。

本計画は、今後10年間のまちづくりにおける最上位計画となりますが、地域課題の解決に向けた具体的事業につきましては、各種分野別計画等により運用することとなりますので、本計画との連携・整合を図りながら取り組んでまいります。

「7-2 健全な財政運営」(P122・123)におけるKPIにつきましては、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、全自治体が毎年算出を行っている健全化判断比率の数値と町独自の数値である基金残高を設定しています。

ご意見のあった総合計画と財政運営計画との数値の関係については、財政運営計画は、策定年度における現況とそれに基づく将来推計を現在の状況が継続すると仮定して算出しており、毎年行っている基金の積立分につきましては、シビアな数値設定とし減少見込みとしています。一方、総合計画は、現在の実績値を基準として課題解決のために望まれる将来的な達成目標を掲げるという観点から数値を設定していますので、ご意見の①、②につきましては、財政運営計画で毎年算定する各数値を的確に把握しながら、総合計画のKPIと対比しつつ事業評価を行うこととなります。

③、④の将来負担比率につきましては、健全化判断比率の1項目として毎年算出を行い、公表していますが、地方債現在高・公営企業債等繰入見込・退職手当負担見込などを用いて算出しており、財政運営計画の中で算出するためには不確定な要素が多いことから、毎年、健全化判断比率を算出する際に、決算年度の確定値を算出することで対応してまいります。また、将来負担比率は町債の残高減や基金の増など、財政的に余裕ができればマイナスの数値に向かいますが、町として必要な事業を実施していくためには、ある程度の比率が必要となります。健全化法では、将来負担比率の早期健全化基準が350%とされてお

り、K P Iとして令和9年度に設定している55%については決して財政的に危うい数値ではなく、「美瑛町共有ビジョン」を実現するためのまちづくりを進めていく上でも必要な目標であると考えております。

⑤の連結実質赤字比率のK P Iにつきましては、健全化法に基づき公表している数値は「数値なし（黒字）」となっているため、町広報紙ではそのように表記しています。参考に数値を算出した場合はマイナスの数値が算出できることから、K P Iとして設定しましたが、ご指摘のとおり混乱を招く可能性があるため注釈を追記させていただきます。

また、事業評価につきましては、より効果的な施策の展開や政策の質の向上を図るとともに、限られた財源の中で効率的な活用を図るために実施しています。評価調書に基づき各担当部署が実施する所管事業の1次評価、評価検討委員会による2次評価を経たのち、まちづくり委員会への報告及び町民の皆さまへの公表を毎年度行ってきましたが、新たな総合計画の策定に伴い、K P Iに基づく客観的な評価を行うことができるよう評価方法の見直しを検討しており、総合計画を基本とした毎年度の事業評価を行っていく予定です。具体的な評価方法につきましては、新たなルールが決まり次第、町広報紙等でお伝えさせていただきます。

内容の前に、第5次総合計画が5年で打ち切られる理由について町民に説明はあったのでしょうか？自分が知らないだけなのかもしれませんが、あるなら第6次の意見を募集する際にその説明も添えた方が良いと思います。もし無いとすれば、第5次の成果も検証していないという事になり、新しい総合計画の策定そもそもが5ページにあるようなPDCAサイクルに則してないことになってしまいます。更に第6次の期間中に「定期的な点検・評価」と記載してありますが、誰がいつ行なうのかが分かりません。中間報告を行なう時期や、それを分かりやすく公開する事を具体的に明記する必要があると思います。あまり考えたくない仮説ですが、首長の交代による計画の変更であるなら、そもそも10年というスパンでの計画そのものが無謀なものであり、計画策定に資金や時間を投入する意義を真剣に考え直して欲しいと思います。

美瑛町自治基本条例に対するコメントの中に「住みよいまち美瑛をみんなで作る条例」廃止の通知があったのか、という意見を見つけました。細かい点では異なるのかもしれませんが、以前にも同様の懸念を町民から受けているとすれば、PDCAサイクルの実効性に疑問を持たれることになるかと思います。

内容に関しては、総花的である印象がぬぐえません。これは総合計画というものの性質上いたしかたないことだと思います。ですが、これまでも様々な町民を交えたワークショップが行なわれ、私も「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に参加したことがあります(6年前でしたでしょうか)、同様の提案、計画がなされていたように記憶しています。他のワークショップでも同じような事がおきているとすると、この第6次の内容は既に分かっている問題点の焼き直しに過ぎず、新たな総合計画の制定そのものの意義がゆらぎかねません。確かに「SDGs」「脱炭素」「AI」といった新しい言葉は加わっていますが、それらは美瑛町に特有のものではなく、言ってしまうと流行に乗っているだけで美瑛町の問題に向きあって生まれたものではありません。(個人的な意見になってしまいますが、「SDGs」「脱炭素」「AI」等は単なる問題点の挿げ替えで解決には繋がらないと考えています。)この総合計画を作ることによって得られる町政における推進力みたいなものは何でしょう？美瑛町では他にもいくつかの「~計画」「~戦略」といったものがこれまで議論されてきています。そういったものでは不十分だとしたらその理由が知りたいです。またこれまでの議論を一つにまとめることがこの総合計画の趣旨だというのであれば、いままでにコメント等で指摘された問題点や、実際に政策を実行して分かった問題点への改善点についての記述があるべきではないでしょうか？

この素案が制作された時期は既にコロナ禍の中にあっただと思います。また多く

の部分がウクライナ危機の中であったはずですが。実際、総論の中にはコロナの記述があります。しかし、それ以外の所にはまったく出てきません。今後同様の感染症の発生、国際関係の悪化による資源価格の上昇などは、ある程度可能性があるものとして考えておかなければならない事ではないでしょうか？ 少なくとも1-6 疾病予防と重症化予防、3-7 観光業の振興、の中にはそれらに関する記述が必要だと思いますが、そういった新しい問題についての記述が無いことも上記した「いままでの寄せ集め」という印象を強くします。

先立って住民アンケートを行なっているようですが、実施時期、回答数を記載して下さい。また、自由記載の質問があったのなら総合計画とは別の書面で良いので回答の公開を求めます。そもそもこのアンケートが総合計画のためのアンケートで事前に町民の意見を聞く機会を設けているのなら、その意見も総合計画に反映させている旨を記述したら良いと思うのですが、過程の記述がないのでこのアンケートが乗っている意味が良く分かりません。

「計画」を辞書でひくと「物事を行うために、その方法・手順などを筋道を立てて企てること」とあります。この総合計画にも方法や手順の様な記述がありますが、重要なのはその一つ一つにどのようなコストが存在するのか、実現に向けた課題が何なのかが考えられているかどうかです。美瑛町にあるリソースには限りがあるため、全てを達成する手段を検討することなく作られているのだとしたら、それは「計画」ではなく「目標」であり、もっと悪くすれば「努力目標」でしかないこととなります。

全体的に内容に関するというよりもこの総合計画の作成意義に関するものになってしまいました。というのも個々の内容は上記したように既知の問題に対する対処の延長線でしかなく、新規性に乏しく、またその実現にたいして具体性がないので意見を言うことが難しいからです。現在(常にかもしれませんが)、時代は大きく動いており、今までの価値基準で今後10年を考えて大丈夫なのかという危機感が特に若い世代にはあると思います。この総合計画にはそういった危機感が欠けているように感じます。

最後に、行政としてパブリックコメント求めるのであれば、町民がコメントできる(し易い)ような、分かり易く具体的な内容の(もしくは理解できるように説明された)問題提起である必要があるのではないのでしょうか？ 正直、この分量の書類に目を通すことは難しいと感じる人の方が多いと思います。文字ではなく動画などの町民が接し易い広報活動の必要性を強く感じます。そういった私はこの点に行政が住民との対話を望んでいるかどうかの本気度が伺えるように思っています。

この総合計画にある「美瑛町共有ビジョン」が達成されていることを町民が実

	感できるように行政の積極的な取り組みを期待しています。
--	-----------------------------

第6次美瑛町まちづくり総合計画（素案）の策定作業につきましては、令和2年度から開始した「美瑛町共有ビジョン」の策定に係る取組が起点となっており、これまで実施してきた町民まちづくりワークショップや、まちづくり委員会、町広報紙、町ホームページ等で計画策定の目的や経過についてお知らせしてきたところです。この度の計画策定につきましては、社会情勢が急速に変化する中、少子高齢・人口減少への更なる対応に加え、近年多発する自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大による社会生活・経済活動への影響などの課題に対応するために、計画の抜本的な見直しを図るものです。

第5次美瑛町まちづくり総合計画の施策評価につきましては、町ホームページ（<https://www.town.biei.hokkaido.jp/administration/administration/machizukuri.html>）に掲載していますのでご参照ください。

事業評価につきましては、より効果的な施策の展開や政策の質の向上を図るとともに、限られた財源の中で効率的な活用を図るために実施しています。評価調書に基づき各担当部署が実施する所管事業の1次評価、評価検討委員会による2次評価を経たのち、まちづくり委員会への報告及び町民の皆さまへの公表を毎年度行ってきましたが、新たな総合計画の策定に伴い、KPIに基づく客観的な評価を行うことができるよう評価方法の見直しを検討しており、総合計画を基本とした毎年度の事業評価を行っていく予定です。具体的な評価方法につきましては、新たなルールが決まり次第、町広報紙等でお伝えさせていただきます。

本計画は、今後10年間のまちづくりにおける最上位計画となりますが、町の政策・施策・事務事業の全般にわたり網羅的に掲げることとなるため、ご意見のとおり、総花的にならざるを得ない性質の計画であると理解しています。地域課題の解決に向けた具体的事業につきましては、各種分野別計画等により運用することとなりますので、本計画との連携・整合を図りながら取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症については、令和2年に初めて国内で発生して以降、人の動きの制限を余儀なくされ、本町においても観光業をはじめとするあらゆる産業に今も大きな影響を及ぼしています。本計画では、総論のほか、各基本施策の現状と課題や個別施策の中で、新型コロナウイルス感染症に触れておりますが、具体的な取組につきましては、前述のとおり、各種分野別計画等により明記し、引き続き対策を講じてまいります。

住民アンケートにつきましては、町広報紙でその目的や経過等をお知らせしているほか、町ホームページ（<https://www.town.biei.hokkaido.jp/administration/administration/chiikikeizaibunseki.html>）に調査結果を掲載していますのでご参照ください。

<p>町民コメントにつきましては、町民の皆さまが主体となって積極的にまちづくりへ参加するための重要な制度であると認識しておりますが、ご意見を踏まえ、町民の皆さまにとってわかりやすい情報共有の在り方を引き続き検討させていただきます。</p>

(意見)	<p>第3章 1-7 医療体制の維持 個別施策 (2) 抜本的改革に向けた準備の内容について、町民・議会・病院職員等が不在の展望のように感じます。</p> <p>地域住民が今、そしてこれからどういった医療、また介護・福祉との連携を望んでいるのか、それに対して医療機関等がどのような体制を敷いていくのかという議論がされたうえで、はじめて素案にあるような「医師数、診療科、病床規模について抜本的な見直しを進め」ることができると思います。そのために国や道がこれからの医療体制をどのように整えようとしているのか（「第8次医療計画」、「地域医療構想」等）を学習する機会を設け、R2～3年度に策定が求められている「公立病院経営強化プラン」など今後の病院の在り方について議論され、その後も定期的に点検・評価・修正されていく、各段階において町民や病院職員等皆が受け身にならないよう取り組んでいただきたいです。</p> <p>また強化プラン策定にあたって、経費削減はもちろんですが、人口減少やCOVID-19の影響以外での患者減の分析や患者増（減少の歯止め）への取り組み、近隣医療機関・介護施設との連携、医師の働き方改革へ向けて有効なDX化・医師事務作業補助者の配置など、まずは今すぐ取り組めることの検討がなされること。町立病院の入院病床の機能・規模などは、国や道の意向に加え地域の必要も踏まえ、いくつかのパターンごとの収支決算シミュレーションやメリット・デメリットを挙げ、町民や病院職員等に共有し検討される必要があると思います。</p> <p>医療体制の維持において、地域住民・関係者が置いてけぼりにならないよう、お願いいたします。</p>
------	--

町の考え方	<p>今後の病院の在り方につきましては、国が定めた地域医療構想等において、赤字病院については、他病院との経営統合若しくは病床削減等のダウンサイジングによる早急な経営強化の実施を強く求められています。</p> <p>また、公立病院経営強化ガイドラインに基づき、令和5年度末までに、「公立病院経営強化プラン」を策定することとされており、町立病院として取るべき道は限られているものの、最良と思われる原案を作成中です。今後、病院運営審議会、病院運営会議等に諮りつつ、町ホームページ・町広報紙等で内容をお知らせします。</p> <p>経営計画等につきましては、収支予算シミュレーションを実施し、効率的な医療提供体制の構築に努めておりますが、新型コロナウイルス感染症の対応を優先していることから、現状ではご満足いただけるものでないことは理解しています。今後、ご意見を参考に抜本的改革を進めてまいります。</p>
-------	---

ご意見	その前に素案の PDF ファイルが開けません。スマホの不具合でしょうか。
町の考え方	お困りの際は別途ご相談ください。

<p>ご意見</p>	<p>①【基本目標 1 ひとに優しい支え合いのまち、基本目標 2 笑顔あふれる育ちと学びのまちについて】</p> <p>私は骨格改善のパーソナルトレーニングを仕事にしています。</p> <p>骨格を整え、自律神経を正常にすることは「健やかな身体」と「豊かな心」の育成に大いに貢献できると考えています。</p> <p>仕事でなく、ボランティアでも構いませんので役場主催のイベント等で何かお役に立てることがあれば使って頂けたら嬉しく思います。</p> <p>世の中が今より良くなるようこの仕事に真摯に取り組んでいます。</p> <p>よろしくお願い致します。</p> <p>https://healthy-habits-2022.jimdofree.com/</p> <p>②【基本目標 6 希望にみちた活気あるまち、基本目標 7 行財政が健全で持続可能なまちについて】</p> <p>私は 2022 年 9 月に札幌からこちらへ移住しました。</p> <p>美瑛町の LINE 公式アカウントがある事を転入届を出す際に案内して頂く、もしくは総合窓口が目に入りやすいポスター等があれば助かるなど感じました。</p>
<p>町の考え方</p>	<p>町内での取組に対する要望等については別途ご相談ください。</p> <p>ご意見を踏まえ、町公式LINEの周知方法について引き続き検討してまいります。</p>

ご意見	いい町だよここは、もっとたくさん町のイベントがあったらいいな🐶
町の考え方	誰もが住みたい、住んでみたいと思っただけのようなまちとなるよう様々なイベントの企画・立案を検討してまいります。